



表紙紹介

4月から学校給食が始まったえりも岬小学校。
新たに6名の児童が入学し、全校児童は27名となりました。
恥ずかしながらも笑顔で撮影に応じてくれた皆さんに感謝。

P 2-3 平成30年度予算の概要

P 6-8 一般質問4名 6件

P 4 予算特別委員会 質疑

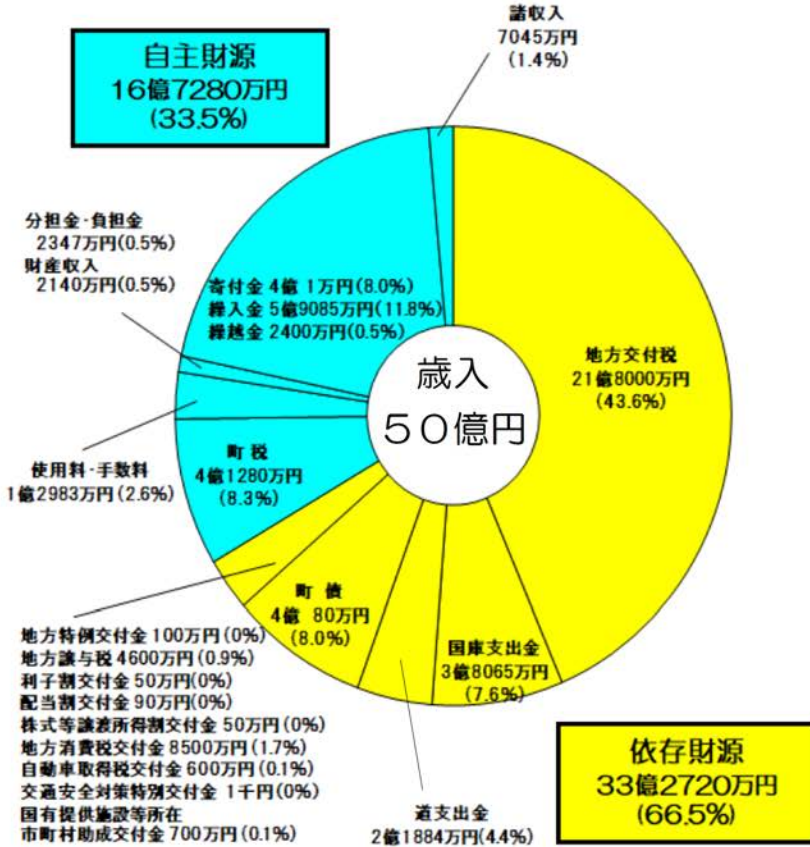
P 9 複合施設特別委員会 報告

P 5 平成29年度3月定例会
補正予算・条例改正他

P 10 「この人に聞く」
ローデス・ジェイソン
ウェイドさんにインタビュー

前年度比 8 千万円増

入ってくるお金



スクールバス購入事業 2,400万円

●本年度の主な新規事業

1. 学校給食費補助金 (教育支援課) 834万円
学校給食費の2分の1を補助することで、保護者の負担軽減を図る。
2. 防災行政無線更新調査設計委託 (企画課) 1,080万円
現在の防災行政無線設備を新規格に適合した機器に更新するため。
3. 庶野放課後児童クラブ運営費 (教育支援課) 330万円
庶野小学校の余裕教室を、昨年、放課後児童クラブに改修し、本年4月から開設する。

4. えりも岬小学校給食事業 (教育支援課) 557万円

平成29年度に給食配送車や備品の購入、調理を行うえりも小学校の改修などの環境整備を実施し、本年4月から給食事業を開始する。

5. 猿留山道を歩く会【兼第27回全道フットパスの集い】 (郷土資料館) 80万円

本年2月に猿留山道が国史跡に指定されたことから記念事業として、例年実施している「猿留山道を歩く会」を第27回全道フットパスの集いと併せて開催するとともに、フォーラムなどを行い、猿留山道のPRを図る。

6. スクールバス購入事業 (教育支援課) 2,400万円

平成14年度に購入したスクールバスの老朽化により、新規車両 (中型バス) に更新し、児童生徒の通学送迎の環境向上を行う。また本年度から、えりも高等学校の生徒確保を図るため、えりも高校生の通学支援として、登校時において現行のスクールバスを利用できる施策を始める。

7. 救難所小型動力ポンプ購入事業補助金 (産業振興課) 75万円

救難体制を維持するため、えりも岬救難所の小型動力ポンプの更新に要する費用を補助する。

8. 昆布保管施設除湿機整備事業補助金 (産業振興課) 454万円

昆布の品質向上を図るため、漁業協同組合所有の昆布保管施設に除湿機を整備する事業に対して補助する。

9. 新生児聴覚検査助成事業 (保健福祉課) 9万円

新生児が、医療機関において聴覚検査を受けた場合の費用を一部助成する。

10. 第3分団消防ポンプ自動車購入事業 (日高東部消防組合えりも支署) 2,792万円

第3分団 (庶野地区) の消防ポンプ自動車を更新し、消防力向上を図る。

平成30年度一般会計予算

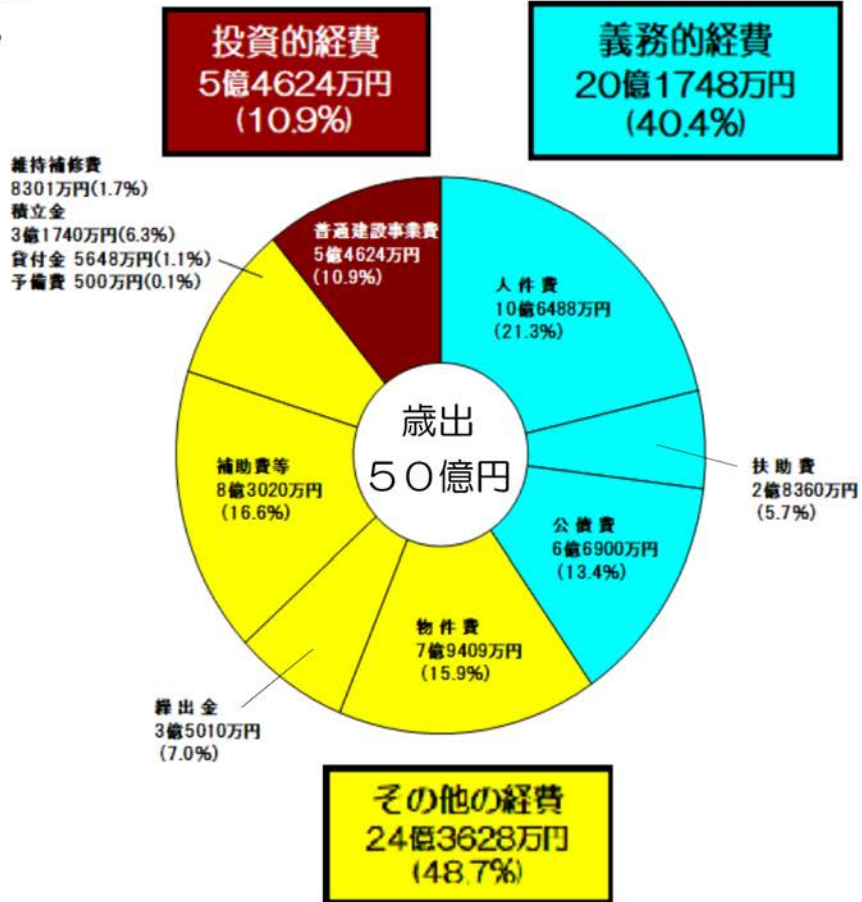
● 予算総括表

単位(千円)

※国民健康保険の運営主体が、北海道となったことに伴い、2億3千8百万円の減少。又、介護保険特別会計は、給付費増により3千6百万円の増加。

会計区分	予算額	前年比
一般会計	5,000,000	80,000
国民健康保険特別会計	1,053,000	▲238,000
簡易水道特別会計	130,000	2,000
診療所特別会計	349,000	▲9,000
下水道特別会計	180,000	▲3,000
介護保険特別会計	410,000	36,000
後期高齢者医療特別会計	64,000	4,000
小計	2,186,000	▲208,000
総計	7,186,000	▲128,000

出ていくお金



予算特別委員会を終えて



予算特別委員会
委員長 渡部 泰

3月定例会の開会中に、平成30年度のえりも町一般会計及び6特別会計を審査すべく予算特別委員会が設置され、図らずも私が委員長として、進行を取り仕切ることとなりました。

政府発表による日本経済は、アベノミクスの推進により、着実に向上していると報じておりますが、景気回復の実感は中小企業や小規模事業者、地域経済には未だ十分浸透していないのが現状であります。

当町の財政は、財源のよりどころとする地方交付税は前年度と同額を見込んでいるものの、基金からの取り崩しとして5億9千万円を予定しており、自主財源の少ない当町の新年度予算編成において、大変ご苦労されたのではないかと思います。そんな中、重要な施策を盛り込み編成された平成30年度の予算案について、項目ごとに細かく質疑を行いました。

その間、委員をはじめ理事者、説明者の皆様には審議の円滑な運営にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

審議の中では、各委員から建設的な意見や厳しい指摘がありました。大変厳しい財政状況ではありますが、可能な限りの自主財源の確保と、一層の経費削減に努められ、財政基盤の強化を図っていただきたいと思います。

予算特別委員会 質疑（抜粋）

給食費補助

質疑 町内各学校の給食費と補助の内容は。

答弁 下記の表のとおり。

学校名	給食費 (年額)	摘要	補助
笛舞小	53,200円		半額
東洋小	57,200円		半額
えりも小	48,400円		半額
岬小	48,400円	H30.4 開始	半額
庶野小	8,600円	ミルク給食	全額
えりも中	57,200円		半額

質疑 給食を実施していない学校もあり、給食費も違うなか、半額補助を町内全域で行うのは不公平感があり時期尚早ではないか。

答弁 実際に給食を実施しているところでは保護者が負担をしている。その負担を軽減するための補助であるので理解願いたい。

シカ侵入防止柵と捕獲奨励金

質疑 シカ侵入防止柵の維持費が毎年増加してきているが、シカ柵の効果があまり見えていないのでは。将来的にどのような考えを持っているのか。

答弁 シカ柵が完成してからかなりの年月が経過し、また、台風等で壊れ修繕を行っている。今後も施設を維持しつつ、柵の内側にいるシカの駆除を積極的に行っていく。

質疑 シカの捕獲奨励金に変更は。

答弁 平成29年度までは、捕獲報奨金として1頭8千円だったが、平成30年度からは国が定めているマニュアルにより、捕獲活動経費の1/2相当額を定額として支援することとして、1頭7千円、ジビエに活

用した場合は9千円を補助する。

また、これまで施設搬入に対して2千円を上乗せしていたが、平成30年度からは、自分で解体し有効活用してその残りの骨や皮を搬入した方に2千円を上乗せすることとなる。

※ ジビエとは・・・狩猟によって、食材として捕獲された野生の鳥獣又はその肉。

ヘリコプター遊覧飛行

質疑 これまでの搭乗実績と委託料600万円の算出根拠は。

答弁 搭乗実績は下記の表のとおり。

委託料600万円については、ヘリコプター運航費、職員の常駐費、PRのためのポスター、チラシ、CMなどの広告費で、毎年度精算を行い、平成29年度は585万9,302円を支払っている。

年 度	搭乗者数	期 間
H27年度	92名	9/19~10/5
H28年度	106名	9/17~10/10
H29年度	140名	9/30~10/22



搭乗者に好評な紅葉の豊似湖

えりも町議会第5回定例会

3月6日から16日までの期間（7日から14日まで休会）で定例町議会が、開会され条例の改正、予算の補正など提出された議案をすべて原案通り可決し閉会しました。また、4名の議員の一般質問も行われました。

補正予算

一般会計

除雪運転委託料

除雪出動回数増加によるもの
2243万円

介護保険ショートステイ事業補助金

ショートステイ利用者減により事業収入が減少したことに対する補助金の増
1050万円

海外実践研修旅行

助成金等

えりも高校韓国研修旅行中止のため
▲438万6000円

介護保険特別会計繰出金

150万円

診療所特別会計繰出金

2020万円

条例改正

えりも町非常勤特別職の報酬等に関する条例改正

複合施設整備検討委員会委員の報酬を日額5500円とする(10名)

えりも町国民健康保険条例の改正

被保険者が死亡したときに支払われる葬祭費の額を1万円から3万円に改める(全道統一となるため)

えりも町介護保険条例の改正

介護サービス費の増加に加え、65歳以上の負担割合が22%から23%へ増えることや事業者に支払う報酬が0.54%引き上げられることにより、65歳以上の介護保険料の基準月額が4320円から5514円に増額となる(全道平均5617円)

人事

えりも町教育委員会委員の選任

えりも町字本町

嵯峨 直樹氏(55歳)

任期満了による再任

えりも町公平委員会委員の選任

えりも町字本町

神田 修氏(65歳)

前委員の退任に伴う後任

えりも町固定資産評価審査委員の選任

えりも町字大和

高橋 学氏(56歳)

前委員の退任に伴う後任

えりも町固定資産評価審査委員の選任

えりも町字新浜

佐々木 智氏(56歳)

任期満了による再任

そこが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



問 国立公園の指定について

答 四町広域連携協議会で 協議していく

問 鈴木勇高議員

環境省は、日高山脈襟裳国定公園を含む日高山脈周辺は、国内でも重要な自然環境を有するとして、平成22年、新たに国立公園の新規指定又は国定公園の拡張対象となり得る候補地として選定している。私は、平成27年6月の

定例会の一般質問において、国立公園に指定された場合「襟裳」の名称を残してもらうため、関係市町村、地元町民の理解と協力が不可欠と訴え、陳情対応などを強く要望した。

答 産業振興課長

北海道地方環境事務所は、平成28年、29年の2年間で行った調査をもとに、本年2月に帯広市と札幌市で開催された報告会において、日高山脈がプレート同士の衝突で形成された特異な地形の成り立ちや地質であること、動植物の固有種や原生的な自然環境が多く残されておられ、自然公園としての魅力と価値があると説明がなされ、平



国立公園化に向けて調査が進められている「日高山脈襟裳国定公園」

成30年度は活用状況の調査を実施する予定であるとのこと。
町としては、国立公園化に向けて懸念していた漁業等の既存の産業活動に対しての規制は変わらないとの回答を得ており、えりも漁協でも漁業活動に影響がないのであれば反対ではないとの立場。
また、地域の知名度向上や来訪者増による経済波及効果が期待されることから、えりも町としても浦河・様似・えりも・広尾の四町広域連携協議会で協議を始めるなど、公園区域内の十勝管内の関係市町村とも連携し、国立公園化に向けて積極的

問 中学校へ部活動指導員の配置を

答 可能な範囲で進めていく

問 鈴木勇高議員

答 教育長

外部からの部活動指導員を配置することは、教職員の働き方改革や長時間労働を解消するという観点から、対象の部を絞り込んで積極的に採用するべきでは、

昨年4月、学校教育法施行規則が改正され、法的に制度化された。当町においては、現在、女子バレーボール部でボランティアとして外部コーチを依頼しているが、今回示された部活動指導員は、名称や職務などを明確にし、職員として採用することから、その責任も重く、学校との報告・連絡・相談等を綿密にしながら部活動を運営することが求められる。

一方、学校としても、その身分・任用・職務・報酬等の規則を整備しなければならぬ。現在、道教委でも、練習時間や休養日の設定等、部活動を柱にした教員の負担軽減の働き方改革案を検討しており、その報告も踏まえながら、当町での人材発掘は厳しい状況にあるが、現段階でできることは可能な範囲で進めていく。



えりも町で初めて設置された
東洋地区の風力発電施設

問 再生可能エネルギーは

答 調査実施の準備を進めている



問 大坂庄吉議員

エネルギー源として自然を利用した太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等がある。

その中の大型風力発電所の計画が持ち出され、建設事業の提案が示されていたが、その後の進捗状況は。

答 産業振興課長

旧肉牛牧場において2社は風況調査実施の準備を進めていた。しかし例年より早い降雪により、春の雪解け後から実施する予定。

3月6日に関係者が来庁し、現在北電に対し電気買取のための「接続検討申込書」を提出し、回答を待っている。

その回答後には手続きを順次進めていく予定と、近々町内に事務所を借りて特別目的会社を設立する予定であると説明を受けた。



電気自動車の普及につれ整備が急がれる急速充電器

問 大坂庄吉議員

近年ガソリンの高騰により電気自動車を利用する方が増えてきている。

観光地えりも町においては急速充電器の取り組みが遅れているように思う。

えりも漁組直売店前の駐車場などに設置してはどうか。また積極的に充電器整備業者などに働きかけるべきでは。

答 企画課長

日高管内で、すでに5町に充電器が設置されており、未整備なのは当町を含む2町である。

近隣の町では国の補助を活用しながら取り組みも行われている。観光地として備えるべき設備のひとつであるとの観点から、充電器の整備を検討したい。

問 急速充電器設置を

答 充電器の整備を検討していきたい

問 漁業ICT活用による効率化を

答 導入にむけて協議・検討していく



問 橋本維応議員

近年、漁場でICT活用が活発化し、ネット通信による情報処理と共有で、水産資源や海洋環境を「見える化」し、データ活用をすることで効率化や資源管理を実現するスマート化が進んでいる。

漁獲不振や担い手の不足、高齢化の問題を解決するため、沿岸の海水温等データ収集やICT作業効率化、魚群の可視化などが必要と考える。

漁網内の魚群探知機の観測画像を、陸上から確認できるユビキタス魚探の導入や海水温等測定にユビキタスブイなどICT活用を行い、効率化や生産性向上、漁のタイミングを見計らう判断材料・漁場研究活用等多岐にわたる活用できるシステムの導入、町主体で「次世代型水産業」の実現と普及を推進してはと思うが町の見解は。



海水温測定に有効なユビキタスブイ

答 産業振興課長

近年は海水温の変化や自然災害の多発、定置網の2年連続不漁や担い手の不足等環境は厳しい。

その中で、漁業ICTを活用した「環境・資源・技術の見える化」の取組が、公立はこれまで未来大学マリンITラボの協力により進んでいる。

例えば、海水温観測ブイの導入により海水温の状態を可視化することで、養殖のカキ・コンブ等の作業時期の効率化や養殖魚の出荷時期、サイズの調整を図ることに活用されている。

またデジタル操業日誌による漁獲情報やGPSと魚群探知機による操業位置、海底地形の情報共有化による水産資源管理システムを活用して留萌の新星マリン漁協がナマコ資源の回復に取組んでいる。

さらに、函館近郊の定置網では、音響計測や海水温、潮の流れなどから漁獲魚種や量の予測を行い、出漁の判断や人員・氷の調整によるコスト削減に取り組んでいる。

しかし、漁業ICTの技術活用といっても、目指す目標のために必要な情報は様々で、それぞれの地域、魚種、漁法ごとのシステムの構築が必要であるが、

まだまだ漁業は競争原理が強く、各漁船の航路や漁獲量といったそれぞれのデータの共有・公開については、協関係の構築やルールづくりが難しく、漁業のICT化がなかなか進まない理由となっている。

今後、漁業関係者にどのような希望があり、それにはどのようなシステムの構築が必要で、情報の提供・公開についての協調やルールづくりができるのかなど、

漁業ICT導入に向けての協議を進めていきたい。



定置網にユビキタス魚探を設置することで、陸にいながら漁獲量を確認できる。



問 高松亮裕議員

中学校や高校に入学する際、制服購入費などの保護者負担が家計の重荷となり教育の機会を奪っていないかという問題がある。

一方、卒業、又は成長により新しく制服を購入したため行き場の

問 中古制服のリサイクルを

答 PTAや生徒に働きかけていく

なくなった中古の制服が存在する。こうした中古の制服を「譲ってほしい方」にリサイクルすることで家計の助けになるのではないか。

全国的にみるとPTA

Aや学校が積極的に関わったり大きな市では複数の学校の制服を格安で販売する民間業者など、制服のリサイクルは一般的になってきている。また、「もつたいないと思う心」や「助け合いの精神」を育むことにもなり、積極的に取り組むべきでは。

答 教育支援課長

当町中学生の「就学援助」の受給者割合は8〜12%、金額は4万

7400円で、この「就学援助」の補助金だけでは制服や靴、鞆を含むすべての学用品を賄える額とはなっており、家計の重荷になっていることは認識している。

「制服のリサイクル」は、日高管内、他町6町の中学校では実施しておらず、当町でも8年前に一度PTAが譲渡会を企画・実行したが1回きりで中止となった経緯がある。

また、生徒数が少ないためなかなか自分合った制服がみつからないこと、入学時に大きめの服を買い、3年間使用するため制服の損傷が激しくリサイクルには向かないことなどの課題が大きい。



全国的には複数の学校の制服を格安で販売する例も見られる。

複合施設特別委員会

複合施設特別委員会 委員長 川村 一治
 副委員長 上野 勝廣
 委員 渡部 泰 石川 昭彦 平野 正男
 大坂 庄吉 笹谷 廣喜 高松 亮裕
 橋本 維応 鈴木 勇高
 議長 成田 一人

調査日 平成30年 3月13日 (火)

基本設計委託業者 日本都市設計(株)に決定

昨年、11月の所管事務調査に続き、複合施設基本設計委託業務の受注業者を選定するためのプロポーザル審査が完了したことから、その経過等について調査を行った。

本年1月30日までに、7社から参加表明書及び、技術提案書が提出されたことを受け、副町長を委員長として課長職12名を委員とする「プロポーザル選定委員会」を設置し、指名業者7社によるプレゼンテーション及びヒアリングを行った。

審査方法は、意見交換を踏まえて、各委員が単独で評価した結果、最優秀者は日本都市設計(株)で、各評価において総じて高評価であり、特に取組姿勢、業務の実施方針に対する的確性、さらに、技術提案のうち、周辺施設との連携による多世代との交流に配慮した計画が、他者の提案に比べ高い評価を得たものである。

この結果から、最優秀者と3月中に契約する旨、担当者から説明を受けた。

調査の結果、プロポーザル審査の経過等について問題がなかったことから、最優秀者と契約することを了承した。

平成30年度は、検討委員会で基本計画を策定

複合施設の建設は、事業規模も大きく、今後数十年単位での使用となることから、町をはじめ議会や関係団体などが協働で取り組む必要がある。

本年4月以降には、企画課内に複合施設担当職員を配置し、町民を交えた複合施設整備検討委員会を立ち上げ、1年間かけて基本計画を策定するとされていることから、各施設に関係する者の意見を広く聞き、参考にしながら検討していただきたい。

新たな町のシンボルとして、また周辺環境に配慮した経済効率の高い施設が建設されることを望むものである。

整備スケジュール (予定)

	H29	H30	H31	H32	H33	H34
基本構想						
基本設計						
実施設計						
建設工事						

複合施設は平成34年度中の竣工・供用開始を予定しています。

この人に聞く

えりも町A.L.T

(小・中・高校英語教師)

**ローデス・ジェイ
ソンウェイドさん**
1994年4月20日生(24歳)



今回の「この人に聞く」は、えりも町A.L.Tのローデス・ジェイソンウェイドさん。シードンウェイハイスクールを卒業後、デイクシー州立大学に進学し、卒業後、現在に至る。
(取材・川村)

Q 出身地はどこですか？
A 私の生まれたアメリカ西部のユタ州は海がなく、山が多いところ。外観はグランドキャニオンの様な感じ。ラスベガスが近く時々遊びに行っていました。

議会の動き

2月7日	日高地区交通災害共済組合議会定例会
2月15日	日高の森林づくりを広げる集い
2月23日	広報広聴常任委員会
2月26日	えりも町交通安全住民大会
2月27日	議会運営委員会
3月1日	えりも高等学校卒業証書授与式
3月6日	全員協議会 第5回定例会招集
3月13日	複合施設建設特別委員会
3月15日 16日	第5回定例会及び 予算特別委員会
3月22日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
4月9日	えりも高等学校入学式
4月10日	広報広聴常任委員会

Q 奥さんとの出会いは？

A 妻のエミリー(22歳)とは、高校の舞台演劇部でいっしょに活動したのがきっかけでした。

Q どうして日本にきたのですか？

A 大学の時、アジアの歴史を勉強し、その後、歴史の先生になりたかったが、日本の文化を習ったことで、興味を持ち、日本に住んでみたくなったためです。

Q えりも町の印象は？

A えりも岬でシーカヤックがしたいです。

A えりも町はなかなか平和です。みんなとても親切です。子供達にはぎやかだけど、英語の授業の時は恥ずかしがり屋です。

Q 趣味はなんですか？

A ハイキングと料理が好きです。父は、メキシコ料理のシェフでした。

Q 好きな日本食は？

A とんこつラーメン、焼肉、寿しがお気に入りです。

Q えりも町滞在中にしてみたいことは？

A えりも岬でシーカヤックがしたいです。



英語授業が拡大されるなか、活躍が期待されるローデスさん

・不慣れなインタビューに一生懸命答えてくれてありがとうございました。

編集後記

寒さも和らぎ、時に突風に見舞われながらも、春らしくなりました。

入学式も終わり新たな生活の始まりですね。

舌つづみをしたうに祭りも終わり風薫る五月となりました。

桜前線もぐんぐん北上してきて、固く閉じていたつぼみも待っていましたとばかりに一斉に花びらを広げようとしています。

いよいよ花見のシーズンとなってきましたね。

庶野の桜もきつとみなさんを楽しませてくれるでしょう。

今回は、新年度予算をテーマにお届けしました。

(大坂)

広報広聴常任委員会委員

委員長 高松 亮裕
副委員長 大坂 庄吉
委員 川村 一治
石川 昭彦
橋本 維応